



高齢者の外出、移動支援の利用拡大は

馬淵 紀明議員

時代に応じた施策に改めていく

保険福祉部長

地域の高齢者の暮らしをサポートする方 大募集!!

日常生活のなかでちょっとした困りごとを「誰かが手伝ってくれたら助かる」そんな高齢者の暮らしをお手伝いするのが、「生活支援サポーター」「運転ボランティア」です。あなたの力を地域で役立ててみませんか？

生活支援サポーター

【活動内容】高齢者の自宅を訪問して家事等のお手伝い
 体操やレクリエーションなどを行う際の補助

【令和3年度養成講座開催予定】場所：愛西市役所 南郷会議室1-3、4
 第1回 令和3年7月26日(月)・7月27日(火)
 午後9時45分～午後3時30分・午後9時45分～午後11時45分
 第2回 令和3年11月4日(木)・11月5日(金)

運転ボランティア

【活動内容】買い物や通院などの移動が困難な方が買い物や病院に行くためのお手伝い

【令和3年度養成講座開催予定】場所：愛西市文化会館 3階 第2研修室
 令和3年8月26日(木) 午後9時30分～午後4時
 (定員はお約40名まで)

問合せ先 愛西市役所高齢福祉課 TEL: 0567-55-7117
 愛西市社会福祉協議会 TEL: 0567-37-3313

▲市が進める事業のチラシ

問 市民から、高齢者福祉タクシーチケットは買物で使えるようにならないか。巡回バスのバス停やスーパーまで遠く車がないので外出が困難などの声を聞いている。高齢者が閉じこもり生活にならないよう、外出、移動支援の利用拡大の考えは。

答 本市の高齢者の外出、移動支援に対する現状は、「タクシーでの通院支援があり、助かっている」と

いう意見がある一方で、「買物にも使えるようにしてほしい」「今後の移動手段の不安を感じている」といった声も聞いている。2025年問題である超高齢社会の影響や健康寿命の延伸などを含め、時代に応じた施策に改めていくことが必要だ。

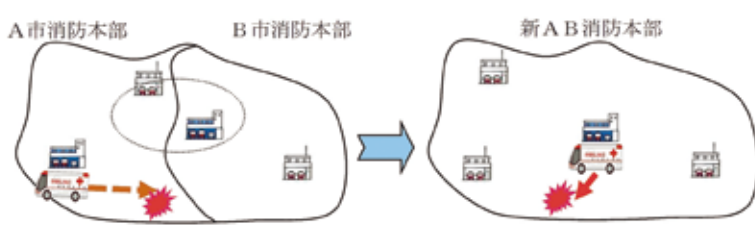
問 近隣消防と連携することによって、救える命がたくさんあるのではないかとと思うが、消防の広域化について、市長の考えは。

消防の広域化の考えは

答 市長就任以来、広域化はすべきと考えているが、なかなか前に進むことができない。今後でもできるところで他の消防本部と一緒に進めていくよう努力する。

2 現場到着時間の短縮

- 管轄区域全体を見渡した**署所の適切配置**が可能に。
- 指令の一本化により、**直近の車両**が現場直行が可能に。



▲消防庁の消防広域化資料